

令和5年度 第1回健やかほうふ21計画(第二次)推進委員会会議録要旨

1 日時	令和5年7月20日(木) 午後2時から午後3時30分
2 場所	防府市保健センター
3 出席者	<p>【委員】 山本(一)委員、深野委員、椎木(康)委員、椎木(幸)委員、松田委員、長尾委員、入江委員、山本(憲)委員、島田委員、内田委員、久門委員、松野委員、平川委員、古谷委員、長岡委員、升田委員、海上委員、大本委員、相本委員、横田委員</p> <p>※欠席：田中委員、弘中委員、末廣委員 (事務局)</p> <p>石丸(健康福祉部長)、野島(健康増進課長)、原田(技術補佐)、島(母子保健係長)、林(健康づくり係長)、永谷、渡邊、山野、坂本、赤川、三好、竹田</p>
4 傍聴者	0名
5 議題	(1) 庁内各課の令和4年度の取組状況について (2) 健康づくりの普及啓発と今後の取組について (3) 意見交換 (4) その他

事前配布資料の確認

次第「1 開会」「3 閉会」は記載省略

2 議事

(1) 庁内各課の令和4年度の取組状況について

<事務局説明>

庁内各課の令和4年度の取組状況について説明(資料1)

(2) 健康づくりの普及啓発と今後の取組について

<事務局説明>

健康づくりの普及啓発と今後の取組について説明(資料2)

(3) 意見交換

【議長】

これまでの事務局からの説明について、階段ステッカーやリーフレットの活用、にこフェスの取組、今後の各団体の取組について等ご意見をお願いしたい。

【A委員】

階段ステッカーお披露目会を当園でさせていただいた。子どもたちが部屋に貼っているミニステッカーを見たり、階段を登る時に遊びの中で読んだりしており、良い反応がある。新聞やケーブルテレビの報道もあり、保護者も喜ばれ、認知につながった。家庭でも親子で一緒に楽しみ、気にかけてもらえるとありがたいし、意味があると思う。

【議長】

階段が無い所への普及についてどうしようかという話も出ているため、これから検討する。

【B委員】

先日の階段ステッカーお披露目会に参加させていただき、子ども達がよく話を聞き、内容を理解していただき良かった。公民館には階段がないので、親子の料理教室ではホワイトボードに貼って、子ども達に話をするなどして活用できると考えている。

【議長】

食生活はとても大切であるため、引き続き推進をお願いしたい。

【C委員】

令和4年度事業実施調査票3ページの実施状況を見ると、令和3年度より令和4年度の実績が増えており、継続していけば広がりを持つと思う。歯科の事業が母子保健、地域介護予防など妊産婦やお年寄りに特化しているため、若い人が早い段階で歯のケアに関心をもてることが必要だと思う。

【議長】

私が学校医をしている中学校では2年生から3年生にかけて虫歯が増えているというデータがありその世代がポイントと思われること、高齢者の口腔ケアの大切さについてご意見をいただきたい。

【C委員】

小学校でやっているフッ素の効果が出てきている。しかし歯の生え変わりが終わるのは中学校3年生くらいであり、最後に生えてきた歯にフッ素が効いていない。あと中学生は部活や塾で忙しく、歯科受診が後回しになったり、親が気付きにくいということが、中学生で虫歯が増えることと関係していると思う。

高齢者の口腔ケアについて、誤嚥性肺炎や感染症は口の中の細菌から罹患することが最も多いため、介助をしてでもきれいにする必要があると思う。やはり口の中をクリーンにしているのは健康的にはとても重要な部分だと感じている。

【議長】

食べる食材も大事だが、口の健康も大事だと思う。

【D委員】

薬局は病気になって薬をもらいにくるところというイメージが強いが、病気になる前に気軽に健康相談ができる場所として認知してもらうために「健康エキスパート薬剤師」という山口県独自の取組をしている。

健康エキスパート薬剤師が中心になって、8月27日にイオンで、薬剤師による健康相談、健康測定、骨密度測定等を実施する。もしご興味のある方がおられたら、ぜひ参加していただきたい。

【議長】

医師会がやらないといけないこともやってくださっているのでありがたい。熱中症対策のOS-1 寄付など、薬剤師会も頑張っておられる。

【E委員】

農協では市内小学校2校で、地元農家と食育の出前授業を行い、子ども達には大変喜んでもらえたと思う。また、7月15日には牛乳の消費等も非常に落ちているということで、市内の牧場で小学生を対象に牧場体験、チーズ作り、牛乳の消費拡大の説明を聞いて学べるイベントを行った。9月2日には、地元農家に集まっていただき、トラック市と、地元産のぶどうを使ったかき氷等を提供し、地元の農業を盛り上げていきたいと思う。

【議長】

小さいお子さんや小学生にとって、畑や田んぼに出たり山に行くなどの体験が良い。自分で作ったものが口に入るとなると、嫌いな野菜も食べるという話もよく聞くので、こういった体験やイベントがどんどん広まれば良いなと思う。

【F委員】

市内50を超えている通いの場支援の中で、この場で学ばせてもらったお口の健康の大切さ等も取り入れて、ST（言語聴覚士）が講話をしている。長年続いている通いの場では、体操の指導というよりは、普段の生活や過ごし方に関する相談が増えている。大切なのは、外に出て人と交流する流れができていくことなので、これからまた盛りあげていきたいと思う。

にこフェスなどのイベントに関して、まずは出ていくということが健康につながると思うので、積極的に参加していけたらと思う。11月12日には、ルルサス防府で、福祉のことを知ってもらうためのブースや福祉車両、福祉用具の体験ができる防府福祉祭りを実施する。普段福祉に興味が無い方や子ども達が参加しやすいよう餅まき等の企画もあるため、ぜひ来ていただきたい。

【議長】

リハビリは手足、四肢だけではないということを皆さん理解してもらって、どんどんいろんなオファーをしていただきたいと思う。

【G委員】

外に出ていくことの大切さや山口県は小学生の体力測定結果が最下位だったこと等をこの委員会で知り、スポーツ推進委員で高齢者や子ども達がみんなで集うイベントが出来ないかと考え、3つの地域が一緒になり7月8日に佐波川でレッツプロギングというイベントを企画した。当日は大雨で中止となったが、参加予定者からまた開催してほしいという声もあり、3月に佐波川でリベンジする予定。プロギングはイベント感覚でジョギングをしながらゴミ拾いをする事でスクワットのような動きもあり、人との交流もでき、またみんなで頑張ろうと思える企画。ぜひ興味のある方は参加してほしい。

【議長】

せっかく自然豊かな地域だが、最近外に出て何かするという機会が奪われ、コロナがそれに拍車をかけている気がする。そういう機会があれば、みなさん参加してもらえたら嬉しい。

【H委員】

若者向けレシピを SNS で発信した報告があったが、6月の食育月間にあわせ保健所でもロビーに簡単レシピを置いたところ、持ち帰る人が多く「簡単、お手軽」という言葉は、手に取りやすいのかなという印象である。階段ステッカーは見ている人もいたので、総合庁舎に県作成の階段ステッカーと一緒に貼ると目について良いと思う。チラシ等も総合庁舎と一緒にPRしていきたい。

にこフェスでは、防府保健所もこの度初めて参加し、塗り絵の缶バッチ、野菜のプレゼントを計画している。子どもたちに喜んでもらえるイベントになるよう一緒にやっていきたい。

【議長】

コロナで大変だったが、これからは少し他方面に目をむけられると思うので、ぜひお願いしたい。

【I委員】

先日、周南市の体育館に行くことがあり、そこで階段ステッカーを見てすごくいいなと思った。防府にもソルトアリーナ等の体育館に、階段ステッカーが広がればよいと思う。

【議長】

階段は目につく人は見るし、大きなお世話的にもならないのが良い。

【J委員】

母子保健推進員は今年度防府で142人、子育て中の保護者をサポートする活動をしている。家庭訪問で子育て中の悩みや不安がないかを聞き、それを行政に繋ぐという役割をしている。訪問に行った際には育児のことだけでなく、がん検診などお母さん自身の体調管理についても伝えている。今年は母子保健推進協議会が主催の「わいわいHOFUっ子の集い」を4年ぶりに開催することにな

り、先月から準備に入っている。若い世代の親子が、地域の中で孤立しないように、地域の中で健やかな子育てができるよう願って活動している。

【議長】

わいわいHOFUっ子の集いについて、もう少し説明をお願いしたい。

【J委員】

従来は未就園児の親子150～160組を対象にしていたが、今年度は感染対策で100組。場所は防府市の武道館で、日時は10月19日（木）10時から11時30分まで。9月15日号の市広報に募集事項が掲載される。内容は、音楽を流してリズムあそびや、大型絵本、エプロンシアター、手作りのおもちゃのプレゼント等がある。

【議長】

楽しそうなイベントで良いと思う。子どもの健康を考えるには、お父さんお母さん、ご家族の健康、心の健康も大切にできればと思う。

【K委員】

自治会連合会の各地区会長は学校運営委員会に入っているため、小中学校から議題があれば連携して積極的に取り組むことができると思う。

自治会の活動には温度差があり、スポーツイベント等の参加者が減少している現状もあるが、新しい種目を取り入れることで初めて参加する高齢者もいた。やはり高齢者に体を動かしてもらうこと、どのように健康管理をしてもらうかというのが課題だと感じる。

【議長】

中学校の校医として運営委員会に参加すると、自治会の方もこられる。みなさんの団体は縦の連携はできるが、横の連携も強化できればよい。

【K委員】

横の連携で協力できることといえば、広報活動。情報伝達は回覧や公民館での啓発など地域振興課を通して、積極的に使ってもらえたら役に立てると思う。

【L委員】

地区の高齢者で詩吟をする方から、詩吟が終わった後、運動がしたいという声をいただき嬉しく思う。公民館や会館で高齢者が運動できるよう、相談したいと思っている。当事者から出た声をつないでいきたいと思う。

【議長】

そういう声は事務局がつないでくれるため、ぜひここで披露してほしい。

【M委員】

人生100年時代と言われているが健康寿命と平均寿命との差が長いという背景もあり、全国や県の老人クラブ連合会の動向を踏まえ、防府市でも重要活動方針として取り上げ、保健センターに来てもらい健康講座を開催した。

高齢者の健康格差の拡大は、運転免許証の返納により外出が困難になる等の支障が出ることも要因である。高齢者ができるニュースポーツも出てきており、元気に過ごすために、いろんなところに出る、体や脳を動かす、意見交換をするなど、たまには緊張した会話を心がけるよう呼び掛けている。

【議長】

よく考えてもらっている。健康寿命の差は5年から7年ある。自治会などの活動と協力して、高齢者の活動に母子保健も一緒に入ったら、集まる世代が増えてそれは楽しい。多世代の活動を各地域でできるともっといい。色々な世代の経験を聞くというのは良い体験となる。

【N委員】

事業実施調査票3ページ2番と5ページの6番のサロン事業について、コロナで地域活動が縮小していたが、高齢者を一人にしないよう自治会と一緒にサロン事業を復活させてきた。今年も推進していく。

人生100年・生涯現役で勉強ということで社会福祉協議会では「幸せます大学」を実施している。8月には深野委員より口腔ケアに関する歯科の講演をしていただく。一人で閉じこもると不健康であるため、日々勉強や出る機会を増やし、高齢者に出てもらえるような仕組みづくりを考えていきたいと思う。

【議長】

高齢の方や障害のある方が出て来られる雰囲気をつくるのが大事だと思う。

【O委員】

昨年メンタルヘルスの講話を保健センターで個別対応してもらい、事業者からお礼の電話をいただいた。今年度も健康経営について全国の商工会議所で取り組んでいる。またSNSは事業者向けの案内や企業のサービスPR等の情報発信に積極的に活用しているが、この時代に沿った有益なツールと思う。

今後も職域の観点から、健康づくりや心の相談があれば保健センターにつながる等、協力して事業をすすめたいと思う。

【議長】

心の健康はとても大切。メンタルヘルスの取組を引き続きお願いしたい。

【P委員】

学校の階段に健康づくりのステッカーを張ったら、子どもも楽しく目について、つぶやきながら階段を利用すると思う。このリーフレットについても、配布物として配るのではなく、話を入れながら一緒に開いて見るなど、活用方法について話し合っていけたらと思う。

体力向上の取組について、おうちで運動という宿題を取り入れている。体力テストの結果は、少し向上したと聞いている。子ども達にはコロナで制限が多くかかっていたが、地域の活動も増えてきた。心も健康に育ってほしいと思う。

【Q委員】

リーフレットの活用について経験から伝えたいと思う。血圧が上がってきて、受診をした時に高血圧のパンフレットをもらった。関心があるから中をしっかりと読み、塩分が問題だとかわかった。関心がない時に渡されても読まない。たくさんの人とお金と知恵を重ねたうえにリーフレットができているため、本当に必要な人やしっかり中を読んでもらえる対象に配れたらと思う。ただ単に配布というだけでは、せつかくの良い物が役に立たせてもらえないのではと思う。

【R委員】

事業実施調査票の中で「A積極的に推進」となっているものから、6ページ13番ニュースポーツ大会について、これまでのスポーツ歴が関係無いことや自分は苦手だと自己評価する必要もないことから気軽に参加できるため、スポーツ振興課が積極的に取り組むこの機会を活用できたらと思う。次に14ページの1番、健康づくり推進のつどいについて、昨年度、委員の中で話し合ったことが形になっていることが大変嬉しいことであるため、周りにも広めていきたいと思う。

階段ステッカーは、私の勤務先にも取り入れ、身近で健康づくりの意識を高めたいと思う。

【議長】

「みんなでつながり思いやる健やかなまち」ということで、「つながりあう」「思いあう」というのが大事だと思った。

【S委員】

みなさんのご意見を聞かせてもらい嬉しい気持ちになっている。この委員会で出された意見を健康増進課が丁寧にひろい、事業に反映させていることが、昨年から参加されている委員には実感し、伝わっていると思う。令和7年度の最終評価に向け、こうして出された意見を実際に実行してみてどうだったという次の意見をいただき、改善策を一緒に考えていけたらと思う。健康づくりはすぐに目標値を達成するのは難しい。日々の積み重ねによって、数字になって現れてくるということが多いため、なかなか結果の評価が難しい面もある。着実にみんなで話しあったことが、実際の事業や取組につながった面も含め評価することで防府市に合った活動につながっていくと思う。

市の事業の取組や委員のみなさまからそれぞれの取組を聞く中で、お互いの組織同士で活用しあい、取り入れられたら良いと思う。そのことによって、お互いの組織も良くなるWINWINの関係づくりができる情報共有の場にこの会議がなればと、すでに今もうなっているのだと思う。

健康で過ごしたいというのはみんなに共通することであるため、同じ目標に向かって、情報交換をして、様々な取組を実践していけたらと思う。

以上により議事終了

【事務局】

今後、健康づくりの課題や取組を各団体に伝えていただくことで、健やかなまちほうふにつながる。また、階段ステッカーについて、活用された団体はホームページで掲載していきたいと思うので、ぜひ申込をしていただきたい。今回、階段ステッカーについては、みんなで考えたものを形にしたいという思いから、お披露目会という企画をし、当日は多くの報道があり健康増進課として嬉しく思っている。今後ともよろしく願いいたします。